

向井潤吉の滞欧体験

— 若き研鑽の日々、そして民家へ



Mukai Junkichi in Europe: From Paris to Minka

2026

4/1^水 » 9/6^日

世田谷美術館分館

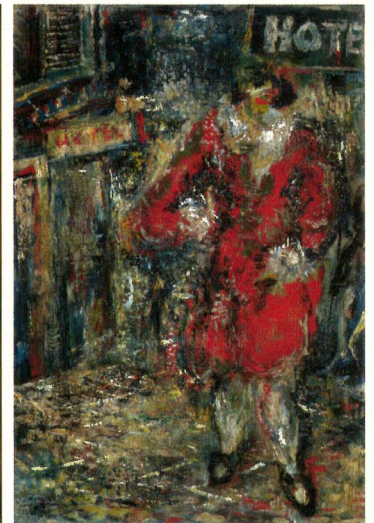
向井潤吉アトリエ館

開館時間 | 10:00~18:00(入館は17:30まで) 休館日 | 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)、5月4日(月・祝)、7月20日(月・祝)は開館、5月7日(木)、7月21日(火)は休館 観覧料 | 一般220円(180円)、大高生170円(130円)、65歳以上/中小生110円(90円) * ()内は20名以上の団体料金 * 障害者の方は110円(90円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。* 世田谷区内在住・在学の小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料 〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1 TEL.03-5450-9581 <http://www.mukaijunkichi-annex.jp/> 《裁縫する若き女(ミレーの模写)》1929年

Mukai Junkichi in Europe: From Paris to Minka

日本各地を巡り、草屋根の民家を描くことに後半生を捧げた画家・向井潤吉(1901-1995)。その画業における初期のハイライトといえるのが、若き日の滞欧体験です。京都に生まれた向井は、15歳の年から4年間在籍した関西美術院や川端画学校で絵画の基礎を学びました。その後、大阪・高島屋呉服店図案部での勤務を経て、1927年にパリへ渡ります。現地では美術学校アカデミー・ド・ラ・グランド・シヨミエールに通うほか、ルーヴル美術館で模写に励み、ペーテル・パウル・ルーベンス、ジャン＝フランソワ・ミレーといった様々な画家たちの作品を間近に観察しながら、

画材や色彩、構図について考察と実験を重ねました。1930年に帰国後、戦中は画家として従軍します。そして終戦後は、時代の変化とともに失われゆく民家を描きはじめました。1959年には再度渡仏し10カ月ほど滞在していますが、この時も民家に目を向けた作品などを描きました。本展では、一度目の渡仏を中心にとりあげ、模写作品をはじめとする油彩画を、戦後の民家を描いた作品とともに展示します。向井の絵画制作における素地となった研鑽の日々に想いをはせる機会となればと思います。



- 1 《山間草炎》[山形県東田川郡朝日村田麦俣]1962年
- 2 《秋風の中の水車》[岩手県江刺市中沢]1969年
- 3 《プロバンの秋(パリ郊外)》1959-60年頃
- 4 《エレーナ・フルマンと二児(ルーベンスの模写)》1929年
- 5 《夜の街》1928年

※[]内の地名表記は、制作時の記録等に基づきます。

世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016
東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL.03-5450-9581
<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>

[交通案内]
◎東急田園都市線「駒沢大学」駅西口より徒歩10分
◎東急世田谷線「松陰神社前」駅より徒歩17分
◎東急バス(渋05)渋谷駅～弦巻営業所「駒沢中学校」下車徒歩3分

世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083
東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL.03-3415-3836
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

宮本三郎 水辺をめぐって
2026年4月1日(水)～9月6日(日)



撮影 上野則宏

Instagram
日々更新しています!

画家の暮らしの息遣いを今に伝える館内や、四季折々に豊かな表情を見せる庭など、向井館の日々の様子をご紹介しますほか、ミュージアムグッズなどの情報もお届けしています。



世田谷美術館分館 清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066
東京都世田谷区成城2-22-17
TEL.03-3416-1202
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>

清川泰次 アトリエの記憶
2026年4月1日(水)～9月6日(日)



◎宮本和哉



世田谷美術館 SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075
東京都世田谷区砧公園1-2
TEL.03-3415-6011(代表)
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

同時開催展

企画展

ミュージアム
コレクション

開館40周年記念 世田美のあしあと —暮らしと美術のあいだで	2月21日(土)～4月12日(日)
田中信太郎 —意味から遠く離れて	4月25日(土)～6月28日(日)
ふたりのアフリカ、手仕事の宇宙 —川田順造・小川待子コレクション	7月11日(土)～9月6日(日)
武蔵野・再考 —写真家たちの武蔵野と向井潤吉の写真	5月2日(土)～7月26日(日)
気になる、こんどの収蔵品 —作品がつれてきた物語	8月8日(土)～10月25日(日)

※ご入館に際しては感染症予防のため手指消毒にご協力ください。館内で十分な距離を保てない場合がありますので、他のお客様へのご配慮をお願いします。

※展覧会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合もございます。会期中の最新情報は美術館ウェブサイト等でお知らせします。